

トライン

高齢者の運転免許証自主返納を支援



高齢者の運転免許の自主返納に対する支援を通じて、交通安全意識の高揚を図るとともに、高齢者の交通事故防止を図ることを目的として、美祿市と美祿警察署は、運転免許証を自主返納する高齢者に対する支援事業の協定を結び、7月31日、美祿市役所で村田市長と上村美祿警察署長が協定書に調印しました。

支援事業は、「運転経歴証明証」を提示した人に対して、秋芳洞と大正洞、景清洞の観覧料の割引、化石館、歴史民俗資料館の観覧料の免除、住民基本台帳カードの無料交付、市民大学講座受講券の無料配布、市民総社会参加活動での花苗の優先配布を行います。

UJターン者の住宅確保に関する協定調印式



8月1日、美祿市役所で、UJターン者の住宅の確保に関する協定調印式が行われ、村田市長と県宅地建物取引協会の片岡義正会長、全日本不動産協会県本部の倉田康也本部長が協定書に調印しました。

この協定は、人口の定住促進を目的に不動産物件を紹介する「美祿市空き家等情報バンク制度」の拡充を図るために締結されました。

不動産関係団体は、市への空き家等情報の提供や、物件の調査に関する市への協力を行い、市では空き家などの情報を集め、ホームページを通して情報の発信を行います。

秋吉台を美しくする運動



8月1日、秋吉台を美しくする運動が行われ、美祿市連合婦人会の会員約30人が参加しました。この秋吉台を美しくする運動は、昭和52年から毎年8月1日に美祿郡連合婦人会が、秋吉台を訪れる観光客に気持ちよく観光してもらうために、清掃活動を行っており、今年もこの活動が行われました。

この日は、秋吉台科学博物館で、秋吉台の成り立ちから現在に至るまでの講話を聞いた後、強い日差しの中、ごみ袋を持って、長者ヶ森、展望台周辺、若竹山・妙見原の各コースに分かれて清掃活動を行いました。

小学生が消防活動を体験



8月2日、消防本部で消防体験学習が行われ、約15人の子どもたちが参加しました。

初めに、火災の発生状況の説明や、「子どもだけで花火をしない」、「花火をするときはバケツを横に置いておく」などの夏休みの注意点などを聞きました。

その後、子どもたちは2つのグループに分かれて、放水訓練や救助訓練、はしご車や地震体験車の試乗などで消防士の訓練や火災時の避難や消火活動を体験しました。

放水訓練では、子どもたちは防火服を着て、真剣な表情で放水を行いました。

まちがど 木

暑い夏の夜を楽しく美東病院 夏祭り



花火を楽しみました。

8月5日、美東病院で美東病院夏祭りが行われ、患者さんやその家族、そのほか多くの地域の人が参加しました。

ポップコーンや綿菓子、ヨーヨー釣りなどの模擬店のほか、「すずらん会」の皆さんによる民舞と演奏、「大田児童クラブ」の皆さんによるお遊戯が披露され、参加者たちは大きな拍手を送っていました。

最後の花火大会では、打ち上げ花火の後、患者さんをはじめ、参加者一人ひとりに花火が配られ、全員で

八代白糸の滝で川の生き物観察



を教わっていました。

8月10日、秋芳白糸の滝で第3回まるごと自然教室・川の生き物観察が行われました。

八代ぬくもりの里で、半田の湧き水、厚東川の水、雑巾を絞った水を使った水の汚れを計る実験や、水の汚れ具合とその中に住む生き物の説明を聞きました。

その後、秋芳白糸の滝に移動して川の生き物を探しました。子どもたちは水着に着替えて、魚や昆虫の捕り方を教わりながら、一生懸命に魚や昆虫を探し、採れた生き物の名前

ハンマーとタガネで化石探し 化石教室



の葉やナギの葉の化石が採集できました。また、秋吉台科学博物館では、アンモナイトやサンゴなどの化石が採集できました。

8月7日、化石教室が行われ小学生22人が参加しました。最初に行った美祿市化石採集場では、小学生たちは化石が入っている石を選んで、ハンマーとタガネを使って一生懸命に石を叩いていました。

その後、秋吉台科学博物館へ移動し、石灰岩から出てくる化石を探しました。採集終了後、歴史民俗資料館で、採集した化石のクリーニング・研磨作業を行いました。

この日は、化石採集場では、シタ

市子連球技大会 ドッジビー



8月10日、青嶺・美祿工業高校体育館で市子連球技大会が行われ、10チームが参加しました。

ドッジビーのルールはドッジボールと同じで、ボールの変わりにナイロンとウレタンで出来ているドッジビーを使うため、当たっても痛くありません。

子どもたちは、普段のドッジボールとは、ちょっと違うドッジビーを楽しんでいました。

競技結果

- 1位 北子連
- 2位 城原モンキーズ
- 3位 於福2